

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.309



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2011年9月14日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

横浜市第3回定例会開会

全ての主要給食食材の放射線量測定を

日本共産党の古谷やすひこ議員は、7日の本会議で市内小学校給食に放射能汚染された牛肉が食材として使われた問題を取り上げ、不安を訴える保護者や子どもたちにどう対応するのか、市の責任で健康調査する考えはないか、ただしました。



横浜市は、給食食材の放射線量測定を1日1検体について行うことにしました。しかし、古谷議員は、これでは不十分であり「子どもたちの健康を第1に考えて、給食食材の1日の主要食材を全て測定すべきだ」と強調しました。

これに対して林市長は、複数の専門家から健康に影響を与えるものではないとの見解を得ていると強調し、現時点では健康調査の必要はないと考えていると答えました。また、山田教育長は、主要食材すべての検査は難しく、各学校に精密な食品検査ができる放射線測定器を配備する考えはないと答えました。

横浜市第3回定例会より

放射能対策 東電と国に損害賠償を

放射能対策をしなければならぬ状態になった最大の責任は、原発事故をおこした東京電力と、それを監督してこなかった国にあります。古谷議員は、市長は横浜市民を代表して東京電力と国に抗議

し、その責任の追及をするとともに、損害請求を行うべきだと主張。

林市長は、「今後必要に応じて東京電力に対しても補償を求めることを検討する」と答えました。



消防職員の増員など消防力の充実を

日本共産党の白井まさ子議員は2日の本会議で、防衛対策補正予算に関連して質問に立ち、補正予算案が施設の耐震化、津波対策、災害救助用資機材の充実をはかり、すべての市立保育所耐震化の予算がつくなど、東日本大震災を踏まえたものであるとして、一定評価しました。

実態とかけ離れた計画は凍結を

白井議員は、中田宏前市長が策定した消防署所・ポンプ車・職員などの数を国の指針よりも大幅に減らす現行の「横浜型消防力再編計画」が「消防力の充実強化に逆行する乱暴な計画」だと批判。策定から4年半たった現在、計画通りに進んでないこと



からも、実態とかけ離れており、計画をここで一旦凍結し、消防職員の増員など消防力の拡充への切り替えを求めました。

林市長は、「今の人数で、まさかの時の震災に対してとか、日常のいろいろな災害に対して対応力のある人数なのかも含めて、検討している」と答えました。

木造保育園の耐震補強補助を

また、白井議員は、市の耐震補強補助対象外となっている軽量鉄骨、木造の16の民間保育園を補助対象とするように改善を求めました。

林市長は、保育所建物の安全確保の重要性を強調し、「補助対象の拡大を含め、耐震化等スピード感を持って対応していきます」と表明しました。

ビフテキよりも

江口 寛

この夏、信州上田の無言館を訪れた。中学国語教科書に載っているあの手帖を実際に見たいと思った。

25歳でフィリピンで戦死した美校生の小柏太郎さんの遺品。

ガラス越しでよく見えないが、「食べたいもの」と書かれ、2ページにわたり64の食べ物の名前がならび、小柏さんが周りを黒く囲んだものや赤丸が付いたものがあり、欄外には「赤丸は特に作って貰いたいもの」とあるという。

窪島誠一郎さんの著作を基に整理してみると、
[赤丸のもの]ソーニ、ボタモチ、アベ川、キントン、ツケ焼、赤飯、ノリツケ焼モチ、アンコロモチ、カレー、スープ（コンソメ）、カ



ツ（牛・豚）、フライ、ウドン、コロッケ、正月用オニシメ類、玉子ソーニ、肉ナベ、

ゼンザイ、テリヤキ、焼ソバ、サンドイッチ、キンツバ、ポテト、肉饅

[黒く囲んだもの]ドーナツ、スキ焼、羊カン、ホットケーキ、寿司、甘酒饅頭

[無印のもの]テンプラ、ウナギ、支那料理、サンマ、五月飴、シルコ、玉子焼、干柿、親子丼、パン類、コーヒー、コー茶、果物類、天プラソバ、菓子類、センベイ類、飴、アップルパイ、焼イモ、ハム、ソーセイヂ、キスノ天プラ、マカロニ、カレーソバ、ビフテキ、ナベヤキウドン、チキンライス、蛤ナベ、ゼリー、ソバガキ、納豆、カキフライ、エビフライ、メンチボール、肉ノ醤油ツケフライ



これからという時に

9月2日午後0時20分、母すみが他界しました。ご飯が食べられるように9月から嚙下のリハビリをしようねと準備していた矢先です。92歳、死因は心不全です。

写真は4年前母が88歳の時、家族で湯河原に一泊旅行をした時の写真です。

これからの議会のお知らせ

決算特別委員会

9月28日(水)～10月14日(金)

私・大貫のり夫が質問するのは、

10月5日(水) 午前10時から

文化観光局と消防局です。



10月28日(金) 午前10時～ 決算議決

本会議と決算特別委員会は、市役所の市会棟で直接傍聴できるほか、インターネットで生中継、録画中継（会議のあった日の土・日・祝祭日を除く2日後から見られます）がみられます。

決算特別委員会では一問一答方式で質疑が行われます。その多くは施策を聞くだけの質問や、当局とのすり合わせが十分過ぎて、質問者と当局が紙に書かれた原稿を読みあうようなもので、そのため、時々質問と回答がずれてしまっていて、全くかみ合わないようなこともあります。中には当局のつくった質問を棒読みする議員もいます。わが党以外で、問題意識を持って質問する議員は少数と言って過言ではありません。

いずれにしても、私も含め青葉区選出の議員がどのような発言をしているのか、税金の使い方はどうなっているのか、決算特別委員会を傍聴あるいは中継をみて、確認してください。



12日は中秋の名月。晴れ渡った夜空にまんまるお月様がみごとに輝いていた。晴天の名月は6年ぶりだという。津波で1本だけ残った岩手・陸前高田市の「奇跡の一本松」と月の写真が新聞に載っていたが、この松も枯れ始め、手の施しようがないらしい。でもお月さまが遠い空から見守ってくれている。大丈夫、きっとみんな元気になれるからと。(M)